

甲南大学法科大学院入学試験問題について

－ 2017年度一般入学試験（前期募集・8月20日分）－

試験科目：商法

1. 出題趣旨

株主総会決議の瑕疵の基本論点を問う問題である。設問1については、本件株主総会決議には、招集手続が法令(会社法299条1項)に違反することにより、会社法831条1項1号に基づく取消事由が存在する点を中心に、要件の当てはめを丁寧にするとともに、裁量棄却についても触れてもらいたい。設問2については、議決権の半数を有する者に招集通知が送付されなければ、株主総会が開催されてもそれはもはや総会とは評価できない。つまり、決議不存確認の訴えについて論ずることが期待されている。設問3は、近年問題となった会社が株主提案権を無視した場合に、決議の瑕疵如何という論点である。

2. 採点実感

設問1については、他人に対する招集通知漏れなどすべての論点に触れた答案は、極めて少数であった。

設問2については、決議無効確認の訴えとするものが多く、不存確認の訴えとしている答案はほとんど存在しなかった。

設問3についても、ほとんどの受験生が理解できていない様子であった。

3. 学習方法

教科書を何度も読むと同時に、最近の重要な最高裁判決には目を通しておくこと。